

## 第32回JC青年の船「とうかい号」 事業計画

役職名	チームリーダー部長
-----	-----------

名前	小野 晃司(浜松JC)
----	-------------

チームリーダー	[三重] 岡田 法久(名張JC)	チームリーダー	[岐阜] 日比野 守(可児JC)
"	[三重] 未定	"	[岐阜] 大塚 智英(飛騨古川JC)
"	[三重] 未定	"	[岐阜] 山内 敬敏(恵那JC)
"	[三重] 未定	"	[岐阜] 古沢 一晃(土岐JC)
"	[静岡] 眞田 公一(裾野JC)	"	[愛知] 伊藤 譲一(常滑JC)
"	[静岡] 大石 将勝(沼津JC)	"	[愛知] 西俣 友雄(愛知中央JC)
"	[静岡] 新庄 剛和(静岡JC)	"	[愛知] 丹坂 和弘(名古屋JC)
"	[静岡] 長谷川佳典(袋井JC)	"	[愛知] 中野 和彦(江南JC)

\* 上記の記載順は事務局の名簿に準じたものであり、乗船チームとは関係ありません。

スローガン	みんなにありがとう！ ～心つながる仲間として～
-------	-------------------------

### 基本方針

一般団員と直接触れ合いを持つチームのリーダーとして、研修・交流プログラムを確実に理解したうえで参加し、団員一人ひとりの個性を尊重しながら、団員相互のみならず、準備・設営に携わる各委員会にも感謝する気持ちを忘れない『心つながる仲間』として、みんなに『ありがとう！』が言い合える第32船を目指します。

	行動の目的及び内容
乗船前	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チームリーダー相互の交流と職務の把握</li> <li>2. チーム内役割分担の確立</li> <li>3. スローガン・基本方針の理解</li> <li>4. 「チームリーダー会議」の開催</li> <li>5. 「チームアワー」の企画・立案</li> <li>6. 国際代表青年・一般乗船者へのフォロー</li> <li>7. 寄港地の現地調査のための先遣</li> <li>8. 安全管理体制の確立</li> <li>9. ハンドブック「委員会からの依頼事項」の作成</li> </ol>
乗船中	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. チーム員の健康管理、規律遵守、生活面での問題把握及び改善</li> <li>2. 「チームリーダー会議」の開催</li> <li>3. 「チームアワー」の運営</li> <li>4. 各企画・研修・イベントへの出席・協力</li> <li>5. 「フェスティバル」の企画・立案</li> <li>6. 本部・各委員会・事務局との連携</li> <li>7. 国際代表青年・一般団員へのフォローアップ</li> <li>8. チーム活動に伴う必需品の調達</li> </ol>
乗船後	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際代表青年・一般団員へのフォロー</li> <li>2. 報告書の作成</li> <li>3. 第33船への引継ぎ</li> </ol>
備考	<p>チームリーダー部長として、各委員会の研修および交流プログラムの内容を精査する段階でチームリーダーの意見が反映できるよう、事前の情報交換を積極的に行ったうえで本部役員会議に参加するよう心掛けます。また一般団員にとって「とうかい号」は期待と不安を抱きながらの乗船となります。「自分が参加している」という実感から、次の次元として「とうかい号に乗って良かった」という感激と感動を抱くはずです。このプロセスを忘れずにチームリーダーが職務を全うできるよう努めます。</p>